

若 鷹

笑顔であいさつ日本一

福山市立鷹取中学校だより
2019年(令和元年)6月3日



“教育実習紹介”

5月27日(月)から6月14日(金)までの3週間、竜谷大学文学部歴史学科4年生の池田佳世さん、広島修道大学人文学部教育学科4年生の石崎航佑さん、千葉大学教育学部養護教諭養成課程4年生の小林遙さんが、教員を目指し本校で実習しています。本校で1週間過ごされた3人の実習生にコメントをいただきましたので紹介します。



石崎 航佑さん

一週間、色々なクラスの授業をみせてもらいました。その中で、生徒の皆さんが自分たちで課題を決めている姿を見て、本当に驚かされました。自分で課題を探し、解決する力はとても大切です。僕は皆さんからその姿勢を学ばせてもらいました。残り二週間、頑張りますのでよろしくお願いします。

池田 佳世さん

この一週間、授業や部活動に参加してきましたが時間通りにキビキビ動く鷹取中学校の生徒の皆さんに驚かされました。また、授業中も一人で、グループで多く考え、意見を膨らませている姿を見てもう一度中学生にもどりたくなったりもしています。来週から授業をさせていただきますが、その時たくさん意見をもらえるように頑張ります！

小林 遙さん

鷹取中学校に久しぶりに来て、自分が中学生だった頃と変わらないこともあれば、変わっていることもあり、懐かしいなあ、新鮮だなあと思っているうちに一週間が経ちました。授業中の皆さんの自主性と自律的な姿勢にとっても驚きました。私もこの実習で、自主的、自律的な学びを得たいと思います。引き続き、よろしくお願いします。

“読み聞かせスタート”

今年度も5月22日(水)から、鷹取中学校図書ボランティアの方たちによる絵本の読み聞かせがスタートしました。今年度からこの春本校を退職された高橋久美子先生も加わってくださり、本校の保護者やOB計13名の方が月に1回来てくださることになっています。

「絵本作家はいろいろなことを絵本の中に潜ませて表現してる。人が生きる上で大切なものは何かといった深いものを、人生経験や年齢が高まるにつれて読み取れるようになってくる。中学生は、絵本を読んでもらうことで幼少期の記憶が甦り、心地よい刺激となったり、物語を聞くことを通して、友情や思いやりなどの感情が自分の中に再認識されたことなどに気付いたり、ストレスが緩和され、リラックスできるのである。」とされています。本校の生徒がとても真剣に聞いている姿をみて、読み聞かせの効果を実感しているところです。

お忙しい中、本校の生徒のために来ていただき心より感謝しています。1年間どうぞよろしくお願いいたします。



“春季総体健闘”

6月1日(土)、2日(日)と春季総合体育大会が各会場で開催されました。どの部活も頑張りました。特に陸上部は、男女ともに優勝しました。陸上部27名と卓球部 岩部君が7月に行われる広島県中学校選手権大会に出場できることになりました。鷹取中学校だけではなく、福山地区の代表として、最後まで粘り強く戦ってほしいと思います。忙しい中、応援に行ってくくださった保護者のみなさま、ありがとうございました。

なお、ソフトテニス男子個人戦は6月8日(土)に、水泳は6月15日(土)に大会が行われる予定です。

